



転ばぬ先の杖

副代表理事

箕輪元三

70歳の古希を迎えたころは、高齢者の交通事故が報道される度に冷ややかな目で聞き流している自分がいた。

従って、高齢による車の廃車や免許証の返納は他人事の問題と考え、80歳引退説（マイカーの廃車、免許証の返納）を気楽な気持ちで家族にも話していた。

今更ではないが、1年があっという間に過ぎ古希から10年、今年は傘寿（80歳）を迎えてしまった。

今更、引退時期の延長を言い出せる訳もなく、廃車と免許証返納のタイミングを測っているところであるが、車離れとなった時、どの様な不便が待ち受けているのか、考えただけでも憂鬱になってくる。日々の買い物、通院、仲間との打ち合わせ時の足などである。

タクシーを使った方が安いとはよく言われるが年金暮らしの身にとって車の維持費用は馬鹿にならないものであることは十分に理解できる。

かつては、車1台持つ費用は大学生を一人養うくらいの費用が掛かると言われたものである。しかし車社会を迎えた今では、一人1台の時代となり車があるのが当然で、日常生活で車を持つかどうかはあまり問題ではなく安易に考えていた自分がいた。

最近、自動車事故が報じられる度に加害者の年齢が気になり、特に車での外出時は「帰って来るまで心配で仕方ない」とか「事故は他人の生活を壊す自分だけの問題ではない。80歳になったら返納するんではなかったの？」と真剣な顔で廃車と免許証の返納の決断を求める女房を少々煩わしいと思いながら、事故を起こしてからでは遅い「転ばぬ先の杖」とばかりに、年度内に一連の手続きを完了させることを決意した。

ご存知ですか？ 介護保険制度

2000年4月に施行された介護保険制度は、増え続ける要介護者と介護を取り巻く環境の変化に臨機応変に対応するため法改正を繰り返してきました。

「地域包括ケアシステムの推進」が掲げられた2012年度以降は、3年ごとに改正されています。今後は少子高齢化の進展により医療・介護サービスのニーズが高まる一方で、深刻な介護人材の不足と医療や介護の財源不足に陥ることが予測されています。

とくに団塊の世代が75歳に達する2025年と高齢人口がピークになる2042年を見据えた制度の見直しを進めていかなければ、介護保険制度が立ち行かなくなることは明らかなために、制度を見直して3年ごとに介護保険法を改正して対応しているのです。

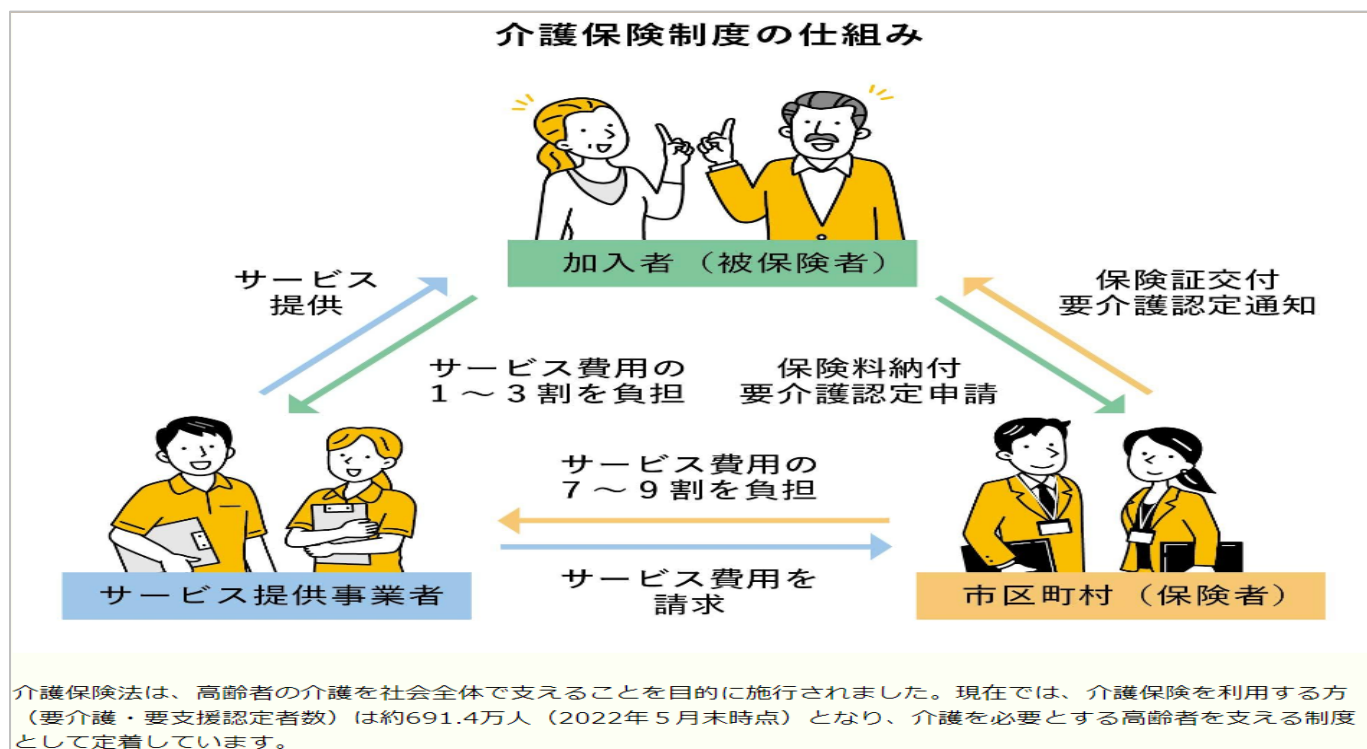
現在、介護保険制度の2024年度改正に向け、厚生労働省の社会保障審議会で議論が進められ2023年には大筋の改正案を基に法令改正などの検討が進められています。

介護保険制度は2000年に創設。2020年度には自己負担を含む介護保険総費用は創設時の約3倍の10兆円超にまで膨らみ、財政負担が増した。

財源不足を受け、次の7つの改正案が議論の焦点になります。

- ①介護保険サービスの自己負担 2～3割対象の拡大
- ②高所得高齢者の介護保険料引き上げ
- ③介護老人保健施設などで複数人が一部屋に入居する多床室室料の自己負担化
- ④介護サービス計画案作成の有料化
- ⑤要介護 1、2 の一部サービスの介護保険から市区町村事業への移行
- ⑥保険料納付年齢の拡大
- ⑦(施設利用時の食事代などを補助する)補足給付の見直し

介護保険制度の仕組み



令和4年度評価・調査活動状況

昨年度に引き続きコロナ禍の中、評価・調査活動は感染防止対策の観点から、事前に各事業所に調査手法をFAXで意向を伺い、従来の訪問調査に加え、全書類郵送調査とリモート調査の3方式で実施しました。

◆介護サービス情報の公表調査

調査期間は令和4年11月8日から令和5年2月28日まで

・訪問調査	229事業所
・全書類郵送調査	204事業所
・リモート調査	114事業所
合計	547事業所

◆地域密着型サービス外部評価

調査期間:令和4年7月25日から令和5年3月30日まで

・訪問調査	89事業所
・リモート調査	32事業所
合計	121事業所

◆福祉サービス第三者評価調査

・今年度の評価実績は有りませんでした。

◆みやぎ介護人材を育む認証制度第二段階確認調査

・訪問調査	4事業所
・書類郵送調査	1事業所
・リモート調査	8事業所
合計	13事業所

★みやぎ介護便利帳

・県内の特別養護老人ホームの協力により、毎年ホームの新しい取り組み状況や内容の更新原稿を頂いて掲載しております。現在、新たに「大東苑」が加わっていただいて67ホームが参加しています。今年度の全体のアクセス数は4万8千回でした。当会HPからのリンクでご覧いただけます。

ありがとう! 戎野さん

事務局次長の戎野邦夫さんが、令和5年1月4日お亡くなりになりました。

戎野さんが事務局の仲間入りをしたのは2017年で、主に経理と情報の公表調査業務を担当して頂きました。事業別運営を経理面から支え、事業継続案を理事会に提案する等、会運営の一翼を担うと共に、現役時代からの豊富なパソコン処理の経験を活かし、各月及び年度末の会計処理を綿密に行って頂き、大変助けられました。情報の公表調査では3年前からのコロナ禍以降、これまでの訪問調査に加えてリモート調査への変更を余儀なくされ、手探り状態の中、各調査事業所との接続を進め、事務局スタッフの誰もができる調査業務のリーダーとして頑張って頂きました。

一方、町内会役員などの地域貢献活動やバドミントン、野菜作り等、趣味の面においても多方面にわたって活動されていたこともお聞きしており、事務所には栽培された落花生など、珍しい野菜等を差し入れして下さったこともありました。

純米酒をこよなく愛し、陽気に周囲を楽しませてくれる方で、まだまだ当会の発展にご尽力して頂きたかったのに、誠に残念でなりません。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

理事会模様

◆2022年度第6回理事会

★令和5年2月15日(水)、仙台市生涯学習支援センターにおいて第6回理事会が開催されました。

主な活動報告、審議事項は次のとおり

- 1、各事業項目進捗状況報告並びに提案審議事項について
 - 1)地域支え合い活動
 - 2)情報の公表制度訪問調査活動
 - 3)地域密着型サービス外部評価活動
 - 4)福祉サービス第三者評価活動 他
 - 5)みやぎ介護人材を育む宣言認証制度確認調査

※※ お知らせ ※※

下記により第22回通常総会を開催します。

日時：令和5年5月24日(水) 13時～

場所：仙台市生涯学習支援センター
第2セミナー室

- 2、事務局次長逝去による新事務局次長の選出について
- 3、2023年度事業所新体制について
- 4、第22回通常総会の準備について
- 5、広報、財政、組織、総務関係について報告・審議
- 6、その他
(詳細については事務局備付けの議事録を閲覧願います)



私と健康麻雀教室

会員 兼平 幸雄



2009年10月に、指先を使い脳トレにも繋がり、特に認知症予防にもなるという「(お酒を)飲まない、(タバコを)吸わない、(お金を)賭けない」ことを大原則にして立ち上げ、今でも運営に関わり続けている隔週土曜日開催の健康麻雀教室がこの度14年2か月・300回開催を迎えた。



開設当初から会員のコミュニケーションを図るため、当日の成績・選評と会員のエッセイ、マナー・ルールを載せた会報の発行と四半期に1回成績上位者の表彰を行っている。

毎回の運営に当たって、卓と組み合わせは、あの人とは組みたくないという声もあることから、朝の受付時に籤引きにより行い、午前と午後の組み合わせも同一者の組み合わせとにならないよう配慮している。



また、健康寿命の維持・向上の3要素である①ヤルこと(麻雀)がある、②行くところ(雀荘)がある、③会う人(雀友)がいる を健康麻雀教室に参加することにより実践できるようになると信じている。

今後とも、健康麻雀教室が出会い・ふれあいの場となり、心から笑って麻雀を楽しむことを通じて生まれるコミュニケーションにより健康寿命の維持・向上に寄与することを願ってやまない。

【 わたし一人言・麻雀楽しみ P P K 】

◆◇なんでも相談会のご案内◇◆

法律、成年後見関係の分野に限らず、会員やその家族、知人の方がお持ちの生活全般に関わる「困りごと」「悩みごと」などなんでも相談会です。

令和5年4月から令和5年7月までの開催日程は下記のとおりです。

☆開催日程

- ✿ 4月19日(水) 相談役 武田 貴志 弁護士
- ✿ 5月23日(火) 相談役 安田 廣治 司法書士
- ✿ 6月21日(水) 相談役 武田 貴志 弁護士
- ✿ 7月25日(火) 相談役 安田 廣治 司法書士

【 編集後記 】

先日、ここ数年に撮った写真が多くなってきたので整理することにしました。

私が写っている写真をみると「笑顔のない写真ばかり」で、がっかりしました。

以前に受講した「笑顔作りの研修」を思い出し資料を引っ張り出して、練習することにしました。

朝、洗面所の鏡に向かって「口角を上げて歯を少し見せる」コツをつかむのに必死な顔をしています。

「笑う門には福来る」笑いも良いが、少しの笑顔で福よ来てくれと、思う今日この頃です。(遠藤)



特定非営利活動法人
介護の社会化を進める
一万人市民委員会宮城県民の会

編集委員 遠藤 千代 兼平 幸雄 工藤 俊廣
曾根 務 出口 香 張間 佳代